

Trados T-3MT 一括翻訳プラグイン v2.1 ご利用説明書

目次

Trados T-3MT 一括翻訳プラグイン v2.1 について	2
ご利用の準備	2
必要なファイルのインストール	2
T-3MT 一括翻訳	4
T-3MT 一括翻訳を行う.....	4
T-3MT 一括翻訳に関するご注意点	9
よくあるご質問	9
汎用モデル一覧	12

2023/1/5 現在

Trados T-3MT 一括翻訳プラグイン v2.1 について

Trados T-3MT 一括翻訳プラグイン v2.1 は、株式会社ロゼッタが提供する T-3MT の翻訳エンジンを使って機械翻訳を行うためのプラグインです。T-3MT の汎用エンジン、お客さまが独自に作成した「カスタムモデル」のほか、T-3MT で登録した翻訳プリセットを指定した翻訳ができます。

ご利用の準備

Trados T-3MT 一括翻訳プラグイン v2.1 のご利用には、T-3MT のご利用契約が必要です。

本プラグインを初めてご利用いただく際、必要なファイルをインストールしてください。

必要なファイルのインストール

インストーラをダブルクリックして必要なファイルのインストールを行います。

■ インストーラ

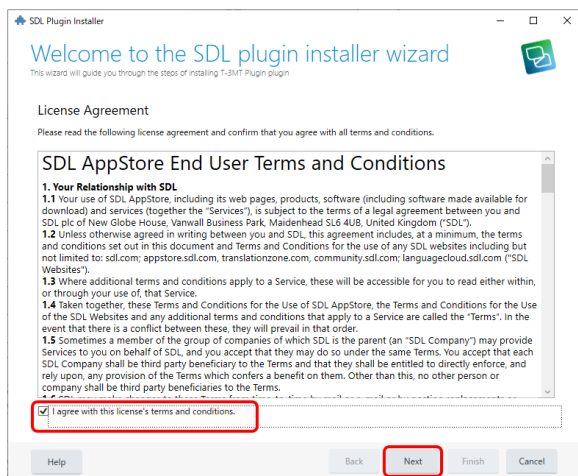
SDL Trados Studio 2022 をお使いの場合：

[Trados Studio 2022 T-3MT Plugin v2.1.sdlplugin](#)

SDL Trados Studio 2021 をお使いの場合：

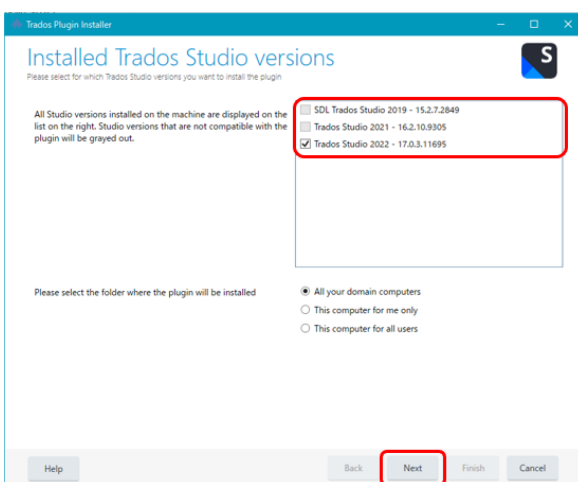
[Trados Studio 2021 T-3MT Plugin v2.1.sdlplugin](#)

インストールの手順は以下の通りです。

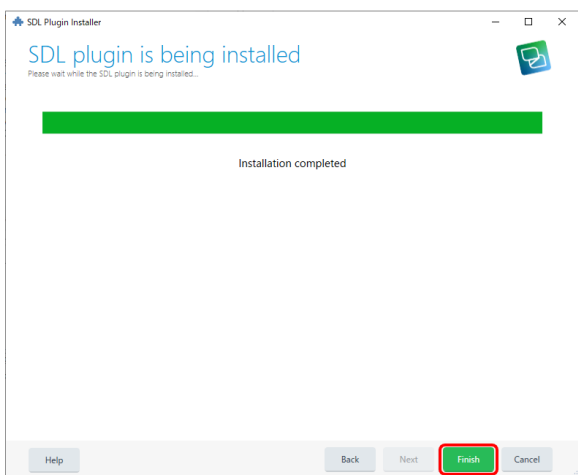


1. インストーラをダブルクリックします。

表示された画面（Welcome to the SDL plugin installer wizard）で、「I agree ~」にチェックをつけて「Next」をクリックします。



2.お使いの SDL Trados Studio のバージョンを選んで、「Next」をクリックします。（通常は自動的に選択されます）



3. 「SDL plugin is being installed.」画面が表示されましたら、インストール完了です。

「Finish」をクリックして画面を閉じてください。

※セキュリティに関する権限などの関係でインストールができない場合は、お勤め先企業のシステム管理者にお問い合わせください。

T-3MT 一括翻訳

T-3MT 一括翻訳を行う

「T-3MT 一括翻訳」を使って、原稿の翻訳を行う手順は以下の通りです。

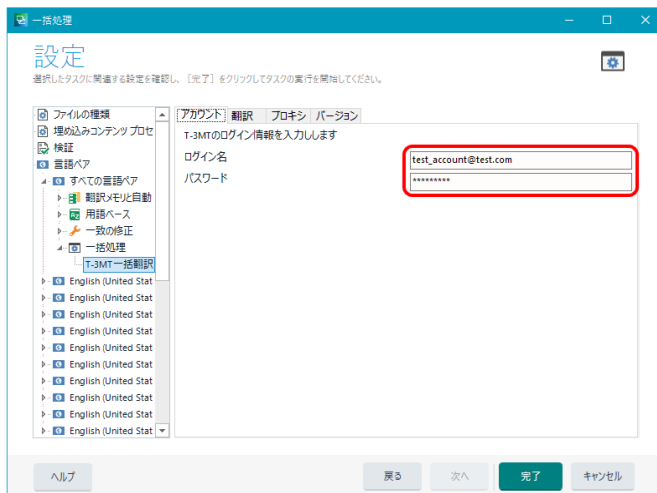
1. 通常の手順でプロジェクトを作成し、ソース言語、ターゲット言語を指定し、翻訳する原稿をアップロードします。
2. プロジェクトの「ファイル」画面で翻訳の対象ファイルを右クリックして「一括タスク」-「T-3MT 一括翻訳」をクリックします（画面上部のリボン部分からも操作できます）。



3. 「一括タスク」画面が開きますので、「次へ」をクリックします。



4. 「設定」画面の「アカウント」タブでログイン名、パスワードに、**T-3MT のログイン情報**を入力してください（SDL Trados Studio のログイン情報ではありませんのでご注意ください）。

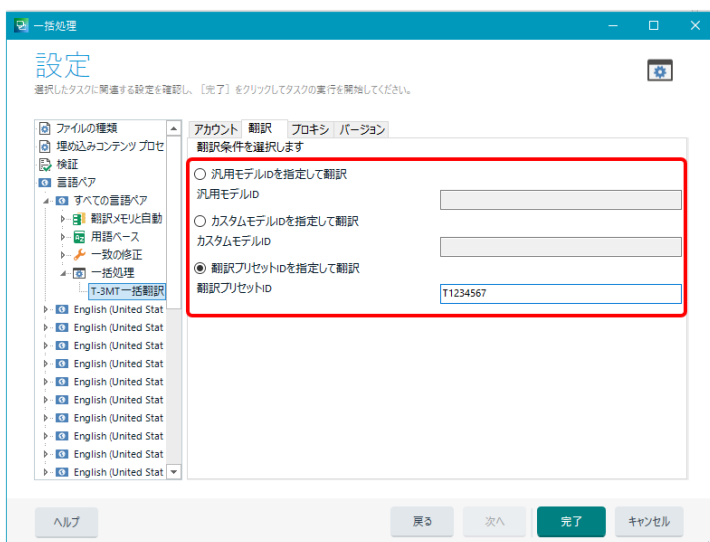


5. 次に「翻訳」タブで翻訳条件を選択し、IDを入力してください。

・「汎用モデル ID を指定して翻訳」を選択した場合、汎用モデル ID を Lxxxxxx の形式で入力します。一覧は本マニュアルの最終ページをご覧ください。

・「カスタムモデル ID を指定して翻訳」を選択した場合、カスタムモデル ID を Mxxxxxxx の形式で入力します。ID は T-3MT 本体にログインし、画面左メニューの「ファイル管理」-「カスタムモデル」をクリックし、カスタムモデル一覧または詳細画面の「カスタムモデル ID」にてご確認ください。

・「翻訳プリセット ID を指定して翻訳」を選択した場合、翻訳プリセット ID を Txxxxxxx の形式で入力します。ID は T-3MT 本体にログインし、画面左メニューの「ファイル管理」-「翻訳プリセット」をクリックし、翻訳プリセット一覧または詳細画面の「翻訳プリセット ID」にてご確認ください。



(ご参考) 翻訳プリセット ID の確認方法 (翻訳プリセット一覧画面)



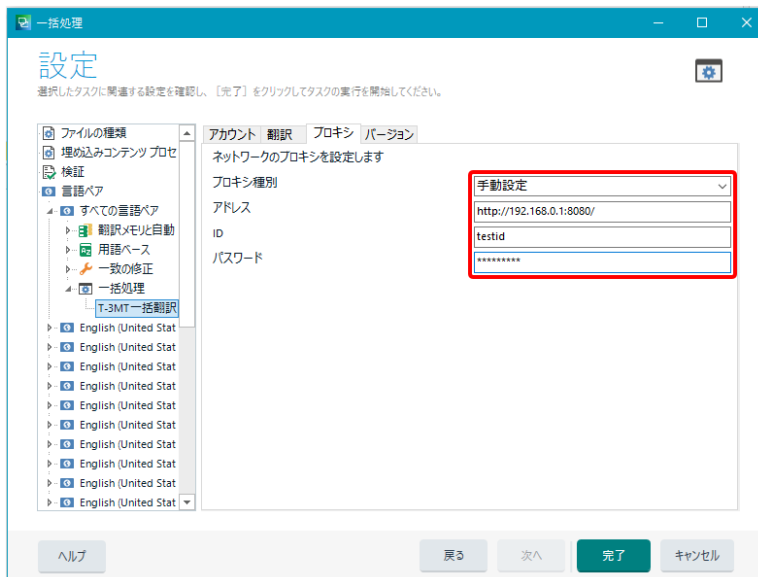
6. プロキシサーバーをお使いの場合には「プロキシ」タブで設定を行います。

プロキシサーバーの ID/PW が必要な環境の場合

- ・「プロキシ種別」で「手動設定」を選択します。
- ・アドレスを `http://[ホスト]:[ポート番号]/` の形式で入力します。
(入力例 : `http://192.168.0.1:8080/`)
- ・ID、パスワード欄に必要な情報を入力します (お客さま企業の IT ご担当者にご確認下さい) 。

プロキシサーバーの ID/PW が不要な環境の場合

- ・「プロキシ種別」で「自動」を選択します。

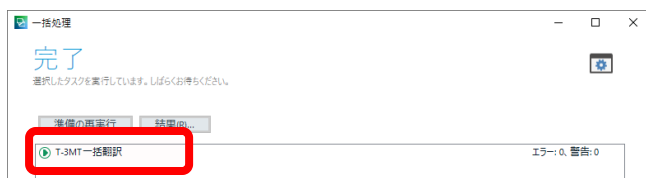


7. 設定ができましたら「完了」をクリックします。T-3MT 一括翻訳が開始されますので翻訳が完了するまでお待ちください。

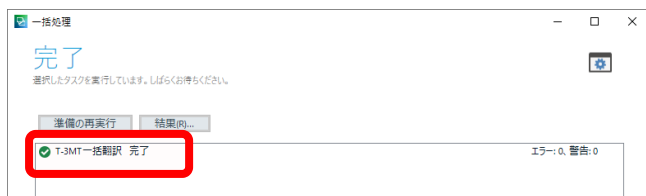
※T-3MT で開始した翻訳は、「キャンセル」をクリックしても止めることができません。一括翻訳完了後は通常の手順でポストエディットなどを行ってください。



T-3MT 一括翻訳が終わると、完了画面に「完了」が表示されます。



↓



【重要】複数のターゲット言語が存在するプロジェクトなどの場合の操作について

T-3MT 一括翻訳を開始後、翻訳実行中に SDL Trados Studio 上のターゲット言語を切り替えて別の翻訳を実行すると、エラーが発生する場合があります。**翻訳が完了するまでの間は別の操作は行わないでください。**

T-3MT 一括翻訳に関するご注意点

原稿のフォントについて

原稿のフォントが統一されていないまま翻訳を実行すると、訳文の質が低下するケースがあります。お手数ですが原稿のフォントを統一して翻訳を実行してください。

例：

韓国語の原稿は、「Batang」などのフォントに統一してから翻訳してください。

中国語簡体字の原稿は、「SimSun」などのフォントに統一してから翻訳してください。

pdf 形式の原稿の翻訳について

pdf 形式の原稿の翻訳では、docx などの形式の原稿を翻訳する場合と比べ訳文の質が低下する場合があります。恐れ入りますができる限り pdf 形式以外での翻訳をご検討ください。

よくあるご質問

Q：設定画面でログイン名とパスワードを入力して操作しても一括翻訳の際にエラーが出てしまいます。

A：T-3MT にログインする際のログイン名とパスワードを正しくご入力いただけているかご確認ください。

また翻訳エンジンが適切に選択できているかご確認ください。

Q：「一括タスク」の「一括翻訳」から T-3MT 一括翻訳を実行することができません。

A：T-3MT 一括翻訳は、「一括タスク」の「T-3MT 一括翻訳」から実行してください（「一括翻訳」から実行することはできません）。

Q：ファイル単位ではなく、文単位で翻訳をかけること（インタラクティブ翻訳）はできますか？

A：T-3MT プラグインではファイル単位の「一括翻訳」のみご利用いただけます。

Q：T-3MT プラグインをインストールした後 Trados を起動すると「未署名のプラグインを検出しました。」という旨のメッセージが表示されます。

A：「はい」をクリックして操作を続けてください。

Q：接続プロトコルエラーが発生します。

A：ID/PW が必要なプロキシサーバーが介在するネットワークからアクセスされている場合、「接続プロトコルエラー」が発生する場合があります。本マニュアルの p.7 をご参考にプロキシの手動設定を行ってください。

Q：T-3MT のタグ処理やスタイルオプションの指定を SDL Trados Studio での翻訳結果にも反映させることはできますか？

A：タグ処理やスタイルオプションを指定した翻訳プリセットを登録しておき、その翻訳プリセット ID を指定して翻訳するとタグ処理やスタイルオプションの指定内容が翻訳に反映されます。

Q：消費文字数はどうやって確認すればよいですか？

A：T-3MT の画面で使用量をご確認ください（SDL Trados Studio の画面に表示される文字数ではありませんのでご注意ください）。

Q：プラグインをインストールし直す場合、古いプラグインはどうやって削除したらいいですか？

A：以下のフォルダ内にある、「Packages」フォルダの「T-3MT Plugin.sdlplugin」と、「Unpacked」内の「T-3MT Plugin」をフォルダごと削除してください。

【フォルダ】

SDL Trados Studio 2019 をご利用の場合：

C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥SDL¥SDL Trados Studio ¥15¥Plugins

SDL Trados Studio 2021 をご利用の場合：

C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥SDL¥SDL Trados Studio ¥16¥Plugins

SDL Trados Studio 2022 をご利用の場合：

C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥Trados¥Trados Studio¥17¥Plugins

汎用モデル一覧

全言語ペア共通

分野名	ID
全体	L000001

※日本語⇔英語以外の言語ペアで汎用モデルを使って翻訳をする場合は、必ず L000001 をご指定下さい。

日本語⇔英語の翻訳でのみ使えるモデル

分野名	ID
IT・機械・電気電子	L100001
機械	L120001
IT	L130001
建設	L140001
自動車	L150001
電気	L160001
医薬・化学・環境	L200001
医薬	L210001
医学	L211001
CMC	L212001
非臨床	L213001
臨床	L214001
ライフサイエンス	L215001
化学	L220001

食品	L230001
環境	L240001
農業	L250001
エネルギー	L260001
医療機器	L270001
特許	L300001
ビジネス専門 (サブメニューから選択してください。)	L400001 (このモデル ID は翻訳には使えません。)
法務	L410001
金融・IR・会計	L420001
会話・メール	L500001